

# 提案概要

## 桃園市民プール等6スポーツ施設

団体名：スピナ・シンコースポーツ共同事業体

### 1 指定管理者としての適性について

<b>(1) 施設の管理運営（指定管理業務）に対する理念、基本方針</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・設置目的を踏まえ、市の「元気発信!北九州プラン」を推進するため、当事業体の「地域貢献」の精神に基づき、地域の「元気」実現への貢献を基本理念とする。</li><li>・基本理念の実現のため、「スポーツ振興への貢献」「地域社会への貢献」「安全・安心への貢献」を3本柱として、様々な取組みを行う。</li></ul>
<b>(2) 安定的な人的基盤や財政基盤</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・代表企業では、本施設以外にも指定管理者として多数の職員を抱えており、本社の指定管理課を含め、人的なバックアップ体制を構築できる。</li><li>・構成企業は、公共スポーツ施設の管理運営専門企業として、知識・技術力の高い職員を多く抱えており、その人材とノウハウを最大限に活用。</li><li>・NPO 法人北九州スポーツクラブ連絡会とも協力、連携し、優秀な人材を確保。</li><li>・共同事業体2社ともに、安定した経営であり、決算状況についても問題ない。</li></ul>
<b>(3) 実績や経験など</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・代表企業は、本施設で利用者人数を増加させ、教室事業の拡充や新規イベント等も積極的に行い、北九州市の指定管理者評価にて「A評価」を得た実績あり。また、市内において、本施設以外に3案件の指定管理者として運営管理している。</li><li>・構成企業は、九州地方にて14施設を指定管理者として運営管理しており、プール施設としては、5施設にて本施設と同様の監視業務を含む、指定管理業務を行っている。</li></ul>

### 2 管理運営計画の適確性

【有効性】に関する取組み
<b>(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・子供から高齢者まで参加できる多彩な自主事業、イベントを実施する。</li><li>・施設の空きスペースの有効活用、キッズスペースを設置する。</li><li>・特に新たな桃園市民プールの利用促進を目的として、専門の運営委員会を立ち上げる。</li><li>・目標利用者数は、令和2年37万人とし、最終年度には37.5万人を目標。</li></ul>
<b>(2) 利用者の満足度</b>
<ul style="list-style-type: none"><li>・施設利用者満足度の目標は令和2年度90%とし、最終年度には95%を目標とする。</li><li>・職員対応満足度の目標は、5年間を通じて95%を目指す。</li><li>・個人利用がメインとなるプールについては、意見箱やアンケートによる意見収集だけでなく、年1回覆面調査を行い、客観的に施設運営を評価する。</li></ul>

<b>【効率性】に関する取組み</b>
<b>(1) 指定管理料及び収入</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 指定管理料提案額は、毎年度 211,964 千円</li> <li>・ 自主事業やイベント、自動販売機による収益は、市民サービスで還元する。</li> <li>・ きめ細かな利用調整を行い、施設の稼働率を上げることで、利用料収入の増加を図る。</li> <li>・ 維持管理において、可能な限り自社対応を行い、外注費を圧縮し経費の縮減を図る。</li> <li>・ 使用料については、北九州市スポーツ施設条例の通りに、運用する。</li> </ul>
<b>(2) 収支計画の妥当性及び実現可能性</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 最低賃金や物価上昇に対応するため、常に効率化を考えコストの圧縮を図り、削減効果によって得られる余剰金を充当する。</li> <li>・ 代表企業の本施設のこれまでの管理実績と、構成企業の類似施設から導き出した指定管理料は、利用者と職員の安全を 100%担保するものと自負している。</li> </ul>

<b>【適正性】に関する取組み</b>
<b>(1) 管理運営体制など</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 緊急時に対応すべく人員は多めに雇用し、施設運営に支障の出ない体制を整える。</li> <li>・ 経験豊かな専門職員を配置し、後進の育成を図り全体の職員レベルを向上させる。</li> <li>・ 6施設が効率的に連携し、限られた人員で全ての業務を補完できる体制とする。</li> <li>・ 日常的な訓練や研修、定期的な講習会を積極的に行い、職員の質の向上に努める。</li> <li>・ 各社の持つノウハウが最大限は発揮できるような、業務分担・役割体制とする。</li> </ul>
<b>(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 個人情報保護の目的と重要性を職員に理解させ、漏えい、紛失が起きない体制を構築する。</li> <li>・ 合理的配慮を十分に理解し、障害者だけでなく全利用者に対して「臨機応変」な対応ができる接客指導を行う。</li> <li>・ 特定の利用者や団体に偏った対応を行わないように、内部監査を定期的を実施する。</li> <li>・ 事故後の対応はもちろん、事故の未然防止に注力する。</li> <li>・ 安全管理マニュアルの整備とマニュアルを実践するための訓練を定期的に行う。</li> <li>・ 監視員教育を徹底し、プールでの三重大事故防止に努める。</li> <li>・ 自然災害、犯罪等の防止のため、市を含む関係機関と日常的に連携を深める。</li> </ul>

**提案額（千円）**

令和2年度	211,964 千円
令和3年度	211,964 千円
令和4年度	211,964 千円
令和5年度	211,964 千円
令和6年度	211,964 千円